



# ECHONET Liteに係るホワイトリスト化

- 日本電機工業会（JEMA）は消費者に向けてHEMSとECHONET Lite機器の接続に関する情報公開ガイドラインを定め周知している。
- HEMSメーカーと機器メーカーが**相互接続の確認をしたうえで**、合意のうえ、両者ともに**ホワイトリストを作成し、公表**する運用がされている。
- 設置後のアフターサービスも含めた接続保証が実現されている。

## 相互接続における情報公開のためのガイドライン

目次 はじめに

### 1.1 概要

ECHONET Lite 規格が HEMS に対応する場合は事業者から消費者まで適切な接続の保証が求められる。また、事業者間には異なるメーカー間の HEMS メーカーと機器メーカーの接続が保証される。また、このガイドラインは事業者間の接続が保証される。しかしながら、HEMS と機器メーカー間で HEMS と機器メーカー間の接続が保証される。異なるメーカー間の接続が保証される。また、このガイドラインは事業者間の接続が保証される。異なるメーカー間の接続が保証される。

このガイドラインは、一般消費者に日本電機工業会（JEMA）と関係する事業者が HEMS を利用する機器との接続が保証される。2018年10月から、HEMS 専門委員会、付録1「相互接続ガイドライン」(HEMS 規格と相互接続規格ガイドライン) に基づき、事業者間の接続が保証される。

また、このガイドラインは、JEMA、メーカーとメーカー間の接続が保証される。また、このガイドラインは、JEMA 規格と相互接続規格ガイドラインに【参考】として記載されている。HEMS 規格と相互接続規格ガイドラインの接続が保証される。また、このガイドラインは、JEMA 規格と相互接続規格ガイドラインの接続が保証される。

- 相互接続の保証
- 相互接続の保証

```
graph LR; HEMS[HEMSメーカー] --- Device[機器メーカー]; Device --- Device[機器];
```

# 海外のスマートホーム規格の状況

- 米国のCSA（Connectivity Standards Alliance）が「Matter」という通信規格を作成している（2022年秋にリリース予定）。
- Amazon、Google、Appleなど米国のメーカーだけでなく、ヨーロッパや中国、韓国など250以上の企業が参画しており、世界的な取り組みとなりつつある。
- 日本企業も複数参加している。



Matter トップページ

<https://csa-iot.org/all-solutions/matter/>

参画企業一覧（8月29日時点）

<https://csa-iot.org/members/>

# HEMSに係る政府の指標・導入見通し等の記載①

- 「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」（令和3年10月）において、2030年度におけるHEMS・スマートホームデバイス導入率を85%としており、その導入率等を前提とした省エネ目標が定められている。

省エネルギー対策名	導入計画	導入・導入見直し	達成率	省エネ量 (%)			見直し後省エネ量内訳		概要
	2019FY	2020FY		見直し前	見直し後	差分	2019FY	2020FY	
④ HEMS・スマートメーター・スマートホームデバイスの導入や省エネルギー情報提供を通じた効果的なエネルギー管理の実施	HEMS・スマートホームデバイス導入率 0.2%	HEMS・スマートホームデバイス導入率 85%	1.3%	179.0	214.0	37.2	192.1	24.0	HEMS、スマートメーター、スマートホームデバイスの導入による家庭のエネルギー消費状況の詳細な把握と、これを踏まえた機器の制御による電力消費量の削減及び、エネルギー小売事業者による情報提供を通じた家庭の省エネ行動の促進を図る。 河床下の普及状況を確認し、普及見込みを修正。また、スマートデバイス等の新たな技術の普及を考慮し、対象機器の範囲を拡大。加えて、エネルギー小売事業者による一般消費者への省エネ情報提供による省エネ効果を追加。
	省エネ情報提供実施率 0%	省エネ情報提供実施率 80%							